

日米での R&D 拠点設立で創薬支援の研究開発体制を強化

2024 年 1 月 25 日



ニコン ヘルスケア R&D センター(湘南)

株式会社ニコン(社長:馬立 稔和、東京都港区)は、2024 年 1 月、湘南ヘルスイノベーションパーク(以下、湘南アイパーク)に創薬支援の研究開発拠点「ニコン ヘルスケア R&D センター(湘南)」を新設し、さらに、米国のマサチューセッツ州に創薬支援の研究開発とサービス機能の強化を目的とした「Nikon BioImaging Lab R&D Center Lexington」も新設します。

日米に R&D 拠点を新設することで、創薬支援の研究開発体制を強化し、お客様のニーズに沿った製品・サービスをワールドワイドで提供していきます。

ニコンは、製薬企業やバイオベンチャーが集まるバイオクラスターをターゲットとして、2019 年に米国のマサチューセッツ州、2021 年に日本の湘南アイパーク、オランダのライデン・バイオサイエンスパークに「Nikon BioImaging Lab(以下、NBIL)」を開設し、三極で創薬支援サービスを展開してきました。NBIL は三極共通して、お客様の効率的な医薬品の研究開発を支援すべく、最先端レベルの機器を設置し、細胞の培養から生体組織の画像解析・評価、バイオアッセイまで、常駐する経験豊富な技術者が、お客様との対話を通して、最適なソリューションを提案しています。

このたび、日本では、バイオアッセイを中心とした研究開発や解析、実証を行う「ニコン ヘルスケア R&D センター(湘南)」を湘南アイパークに新設し、同施設にある NBIL と連携していきます。米国では、マサチューセッツ州に 2 拠点目となる「Nikon BioImaging Lab R&D Center Lexington」を新設し、お客様の効率的な医薬品の研究開発を支援すべく、高度な専門知識をもった科学者により、実験計画の立案から AI 技術を用いた画像解析まで、幅広いソリューションを提供します。

創薬分野では、細胞や生体組織を活用した薬効評価や病理診断技術が、新しい医薬品の研究開発に大きく貢献しています。ニコンは中期経営計画において成長ドライバーの 1 つに創薬支援を掲げ、細胞や生体組織の状態をより正確に画像解析・評価する技術を用いた創薬支援ソリューションを展開しています。

研究開発に従事するニコンの技術者や科学者が、お客様と接する機会をこれまで以上に増やすことで、お客様のニーズに沿った製品・サービスを提供していきます。

ニコン ヘルスケア R&D センター(湘南)の概要

| | |
|------|--|
| 所在地 | 神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地 1 湘南ヘルスイノベーションパーク C2 棟 3M 階／部屋番号:C23M-4110,4120 |
| 主な業務 | バイオアッセイを中心とした研究開発や画像解析、実証など |

Nikon Bioluminescence Lab R&D Center Lexington の概要

| | |
|------|--|
| 運営 | Nikon Instruments Inc. |
| 所在地 | 10 Maguire Rd, Lexington MA, 02421 U.S.A. |
| 主な業務 | 医薬品研究開発の自動化技術開発 撮影・解析サービス、バイオアッセイ開発支援、カスタム開発支援、トレーニング、テクニカルサポートなど |

この件に関する問い合わせ先

●報道関係の問い合わせ先

株式会社ニコン 経営管理本部 広報部
108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟

北村・巴 とよえ
03-6433-3741

●ニコン ヘルスケア R&D センター(湘南)に関するお客様の問い合わせ先

株式会社ニコン ヘルスケア事業部 ステムセル事業推進部
251-0012 神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地 1 湘南ヘルスイノベーションパーク

坂神
0466-32-7193

●Nikon Bioluminescence Lab R&D Center Lexington に関するお客様の問い合わせ先

株式会社ニコン ヘルスケア事業部 ステムセル事業推進部
108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟

安藤
03-6433-3904

●ニコン・ホームページ <https://www.jp.nikon.com/>

●ニコン・ヘルスケア事業ホームページ <https://www.healthcare.nikon.com/>

本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。